

科目名	保育内容指導法(表現)					開講 キャンパス	神園
担当者	櫻井 琴音・前村 晃						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	領域「表現」のねらいと内容を理解させるとともに、保育現場における表現活動の実践力育成を目指す。子どもの表現は音楽的表現、造形的表現、身体的表現が、あそびという形で総合的に表現されることが多い。そこで、子どもの総合的な表現について実技を通して学習させ、様々な表現手段を通して表出される子どもの表現を受け止めることの重要性を理解させ、指導法や環境設定について学習させる。						
授業の 到達目標	①領域「表現」のねらい、内容および保育者の役割について理解する。 ②音を媒介にした活動中に表出される子どもとの非言語的コミュニケーションについて理解する。 ③物語りの場面に適した効果音をつくることを通して、楽器の活用法を理解する。 ④身の回りにある材料を用いて、様々な音を創り出すことができる。 ⑤子どもの心身の発達に応じた表現あそびのテーマを設定できる。 ⑥子どもの表現を受け止め、活動をさらに発展させるような言葉かけができる。 ⑦体験を通して様々な表現方法や発想があることを知り、実践に生かすことができる。						
学習方法	ディスカッション、グループ活動・発表、作品づくり						
テキスト及 び参考書等	必要に応じて資料を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	○				◎		55
宿題・授業外レポート	◎	○					20
授業態度				◎			10
受講者の発表				◎	◎		10
授業への参加度				◎			5
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	領域「表現」と他領域との関係、領域「表現」のねらいと内容、表現活動における保育者の様々な役割						
第2週	乳幼児の発達と表現、幼児教育の現代的課題と領域「表現」						
第3週	コミュニケーションとしての子どもの表現、音あそび						
第4週	紙芝居の朗読						
第5週	紙芝居の効果音づくり(楽器を用いて)						
第6週	紙芝居の効果音づくり(楽器と身の回りの物を用いて)						
第7週	効果音を入れた紙芝居の上演(試験を含む)						
第8週	幼児の生活と造形活動						
第9週	伝承遊びと幼児の造形活動1 自然物による造形的な遊びを通して造形活動の指導法を考える。						
第10週	伝承遊びと幼児の造形活動2 絵描き遊びを通して造形活動の指導法を考える。						
第11週	伝承遊びと幼児の造形活動3 折り紙・切り紙・ぬれ糸等を通して造形活動の指導法を考える。						
第12週	身近な物で作って遊ぶ1 針金による造形遊びを通して造形活動の指導法を考える。						
第13週	身近な物で作って遊ぶ2 割り箸による造形遊びを通して造形活動の指導法を考える。						
第14週	パネルシアターの世界を楽しむことを通して造形活動の指導法を考える。						
第15週	ビデオ等による幼児の造形作品の世界を見ることで造形活動の指導法を考える。						
第16週							
備考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返っておくこと。また、授業後にはノートを頼りに学習した内容を確認すること。						